

見守りモニター-AiSleep



エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社

AiSleepによる見守りモニターの概要

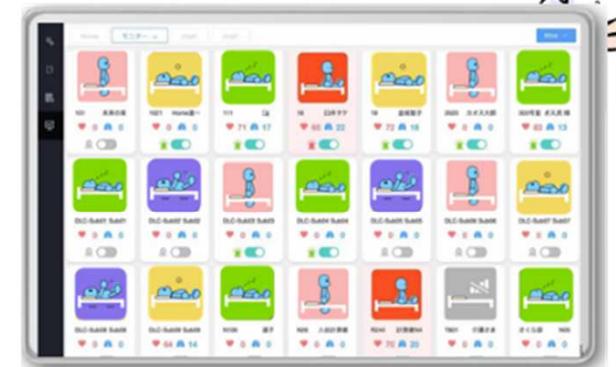
- ① ベッドごとに1式設置
- ② Wi-Fi回線で、センサーから端末に通信
- ③ オンプレ（買い切り）・クラウド（月額） 選択可



クラウド/オンプレ



監視センター



介護スタッフ



リアルタイムモニター

- ・バイタル（心拍・呼吸）
- ・ステータス表示
（離床・起き上がり・体動・覚醒・睡眠）

睡眠健康解析

- ・睡眠クオリティ
- ・心拍、呼吸
- ・ゆらぎ健康度

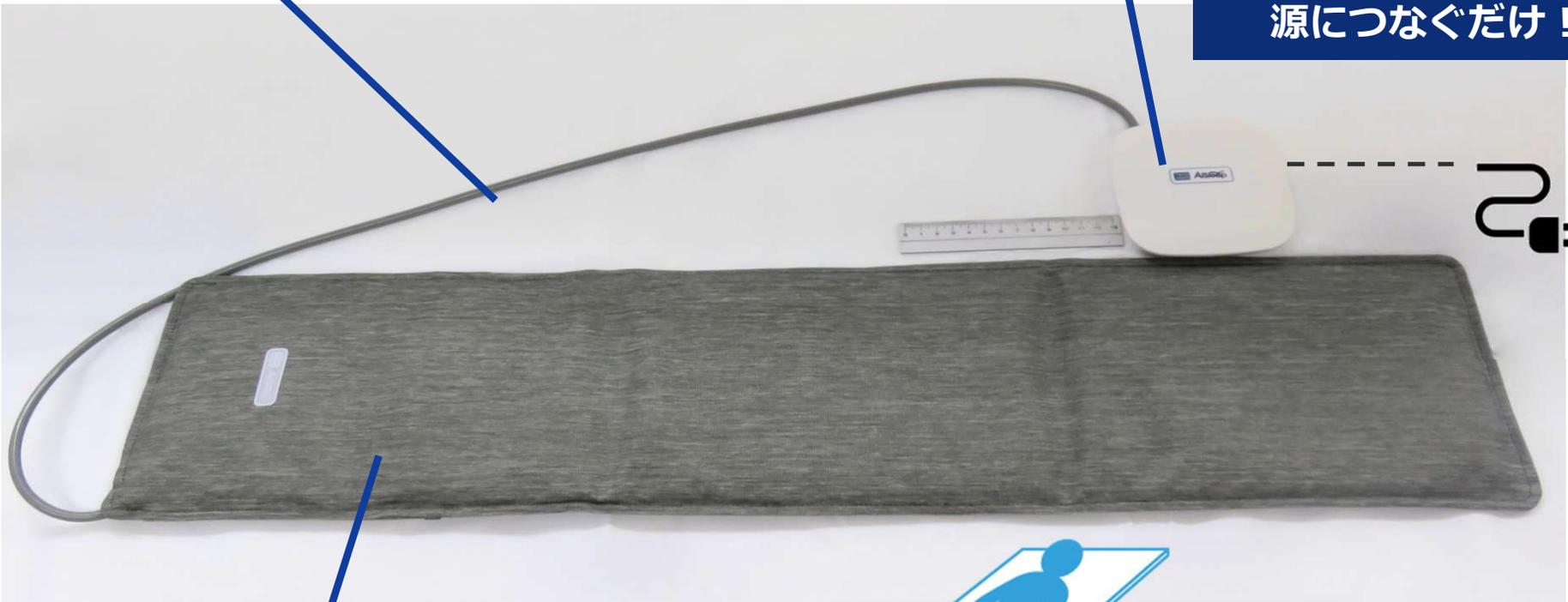
AiSleep製品構成

①空気圧チューブ

マットが汚れても取り外し可

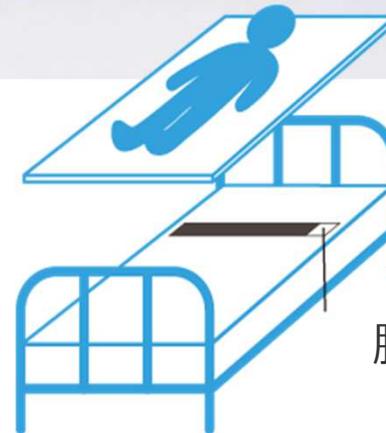
②センサーユニット

センサーユニットから電源につなぐだけ！！



③センサーマット（空気圧式）

他方式より誤検知が少ない



胸部の下に来るように設置
(ベッドマットの下)

AiSleepが成果を出せる5つの理由

①3秒前後で高速検知

②ベッド上の動きを毎秒見守り

③個人別アラーム設定

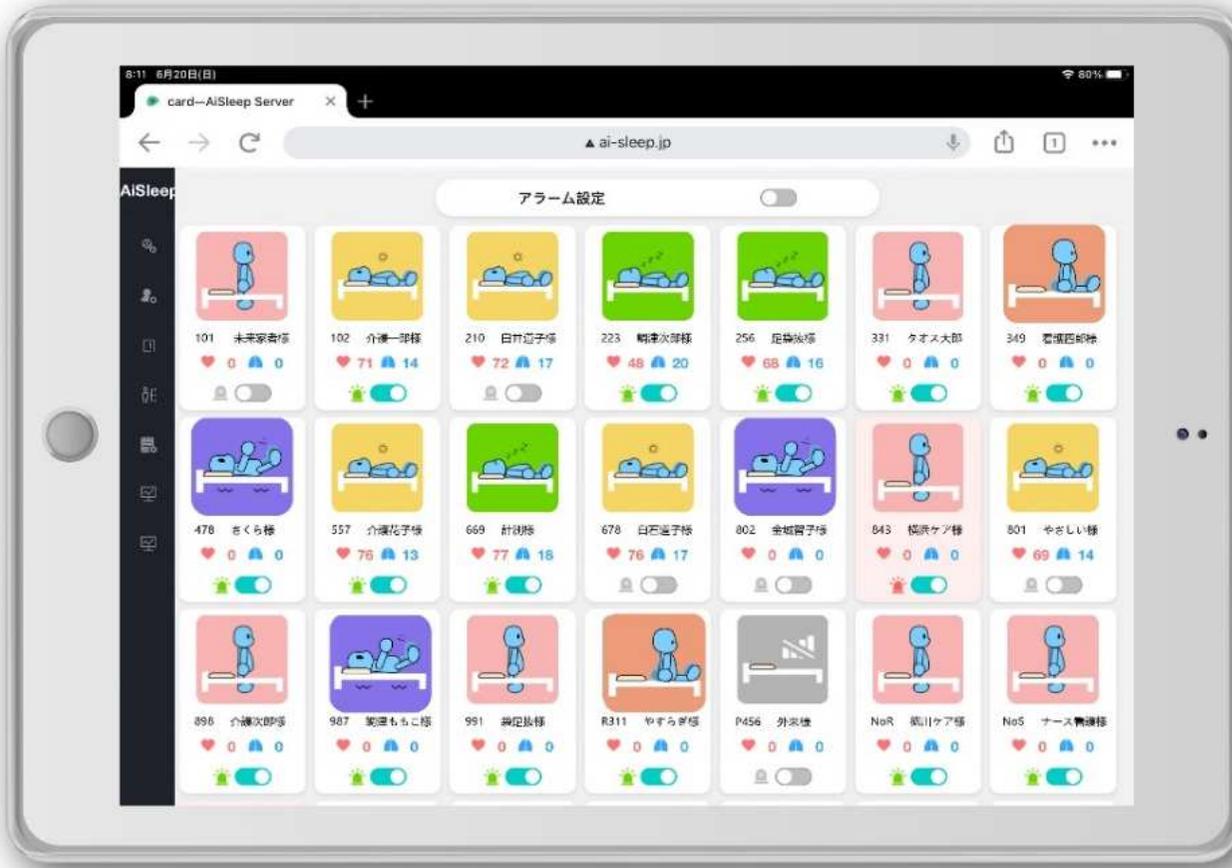
④AIによる自動最適化

⑤さらに業務効率化できる睡眠解析

機器が苦手でも、すぐに見守りができます。

リアルタイムモニタ【一覧表示画面（PC共通）】

- ①『睡眠・覚醒・座位・離床・体動』を、見やすく色で表示
- ②バイタル（心拍・呼吸）表示



一覧表示画面（タブレット版）

ステータス表示アイコン

睡眠	覚醒	座位
離床	体動	
回線切れ	検知不可	

高速離床検知 【転倒対策・訪室の改善（例）】

離床10秒通知の場合

① 転倒事故に訪室が間に合わず

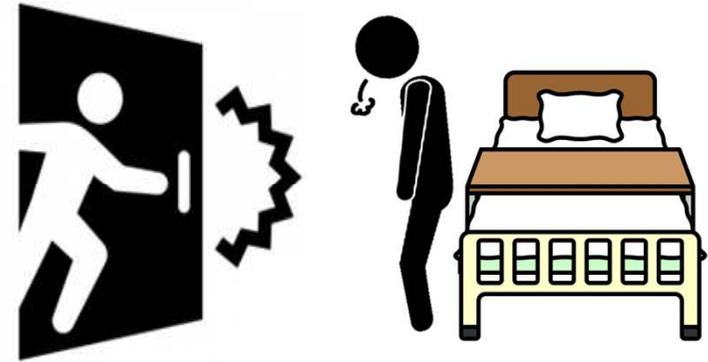


② 転倒防止で信頼しづらい
⇒ 結局、訪室が減らない場合も



離床3秒通知（AiSleep）の場合

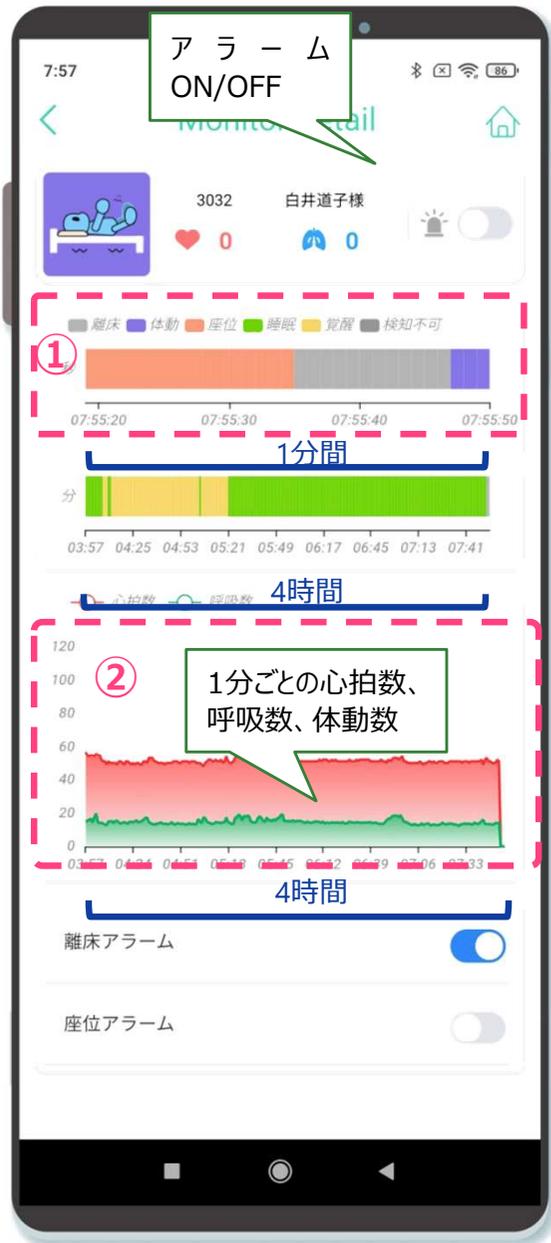
① 転倒事故に事前介入



② 検知を見てから、駆け付けに変えた
⇒ 定期巡回が減り、業務改善



リアルタイムモニタ②【個人表示画面（PC共通）】



一覧・個人の2画面だけ
操作はタップのみ

① 毎秒のベッド上の動きを、リアルタイム表示

- ・カメラなしでも転倒防止
- ・ベッド上で動く利用者も、一目で見守り
- ・訪室タイミングをその場で判断

② 心拍・呼吸の見守り

- ・1分ごとの心拍、呼吸、体動を記録

個別アラート設定・AI自動最適化

利用者ごとのセンサー調整が負担

難しい設定・手間なく、利用者ごとに検知を調整したい・・・



施設様のお悩み例

AiSleepなら、簡単に最適化！！

- ①利用者ごとに設定変更可
- ②利用者変更時も、自動でセンサー感度調整
- ③心拍・呼吸アラートも設定可



スマホアプリ機能【アラート表示・ログ】

① アラート発報するアイコンをトップに表示



離床・座位を検知した
利用者が、一番上に
自動で移動

自動で業務の
優先順位づけが可能

② アラート発生履歴と介助者の情報



アラーム履歴（左）
対応状況（右）
をスマホから確認。

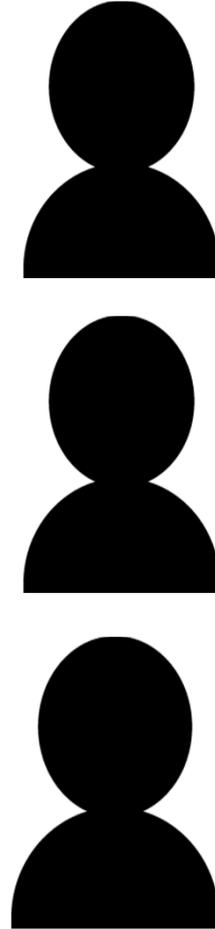
アラーム発生と
介助状況を把握

実際に使用した現場の声（リアルタイム）

操作はとても簡単。訪室が減り、業務の優先順づけもラクに。

離床前に事前介入できる。転倒や排尿前に駆け付けられる。

アラーム個別設定は画期的だと思う。転倒リスクに合わせて使える。



介護中の歩数実験にて.....

歩いた距離が**26% (3.4km)** 削減！！

睡眠解析の位置づけ

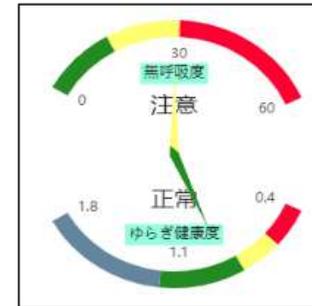


対応×対策 = 無駄な訪室が超激減!!

リアルタイム見守り



睡眠解析サービス（無料）



- ・ 事故が起きる前に対応可
- ・ 検知を見てから訪室

素早い駆けつけ

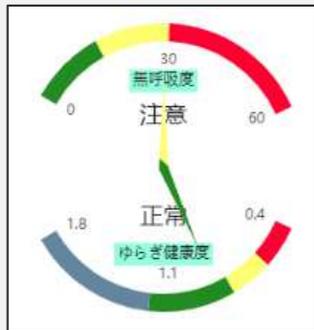
- ・ 訪室増加の原因に
- ・ 転倒リスクごとに

根本的な対策

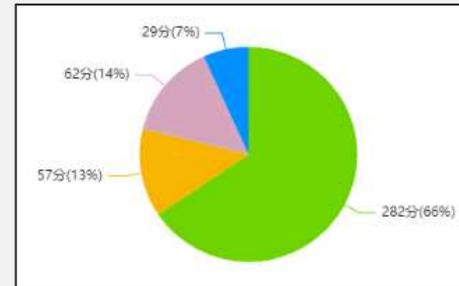
睡眠解析の特長【睡眠日誌】

睡眠の質の向上から、
夜間の離床・呼び出しが減少した実例があります。

※当機能は症状の診断ではなく、あくまでも指標となります。



- ① 無呼吸、心拍健康度
- ・ 正常～危険の指標
 - ・ 医療機関の診断を受けるかの目安



浅眠 覚醒 REM 熟睡

- ② 眠りの深さを解析
- ・ 熟睡などを睡眠改善の目安に
 - ・ 夜間の起床が見える

解析の表示項目例



● 離床・座位アラート ● 心拍・呼吸数アラート



- ③ 睡眠スコア
- ・ 眠りの質が一目でわかる
 - ・ 環境、健康改善の目安に
 - ・ 行った改善の結果が見えやすい

- ④ その他項目
- ・ 平均心拍数
 - ・ 離床、寝返り回数
 - ・ 総睡眠時間等

- ⑤ アラート数
- ・ アラートが鳴った数、時間
 - ・ 事故が起きやすい時間に訪室を設定可

睡眠解析のかんたん事故対策例



転倒リスクが
体感より高い...

原因解消



基準：80～＝良い

4回～＝多い



60回～＝多い

現状の
数値化

数値で
見守り

成果が出る

①分析・対策

- ・ 数値の正常化を目指す
- ・ 寝具、入浴改善.....ほか

②入居者の変化に対応



寝返り増加
事故危険度高

- ・ 正常な日と比較⇒原因は？
- ・ 危険な時間帯に巡回

③対策の結果



眠りの質アップ!!
対策の効果アリ!!

AiSleepの活用事例

事例：特別養護老人ホーム様（約40床） 改善例

お悩み

- ・夜間に叫び出す利用者様がいる。
- ・夜間の離床や呼び出しも多い。

一部活用項目

●現状の分析

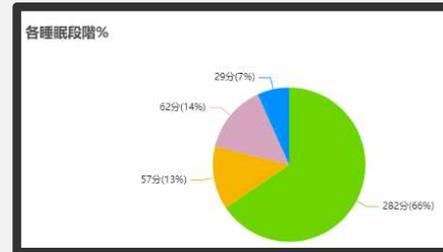
- ・よく眠れない
- ・眠る時間が遅い
- ・寝返りが多い



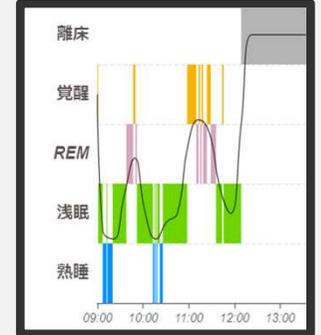
スコア70以下
(眠りの質が低い)



寝返りが多い



熟睡（青色）少ない



改善策

●対策方針

- ・睡眠の質を上げる
- ・生活サイクルを早める
- ・寝具の変更、ストレス緩和



食事後の休息時間を2時間早めた

寝具変更、入浴の増加等

結果

- ・睡眠スコア81（良い）に向上。熟睡も増加。
- ・呼び出しや離床も激減、短期で業務改善に成功。

睡眠解析の特長【睡眠週報】

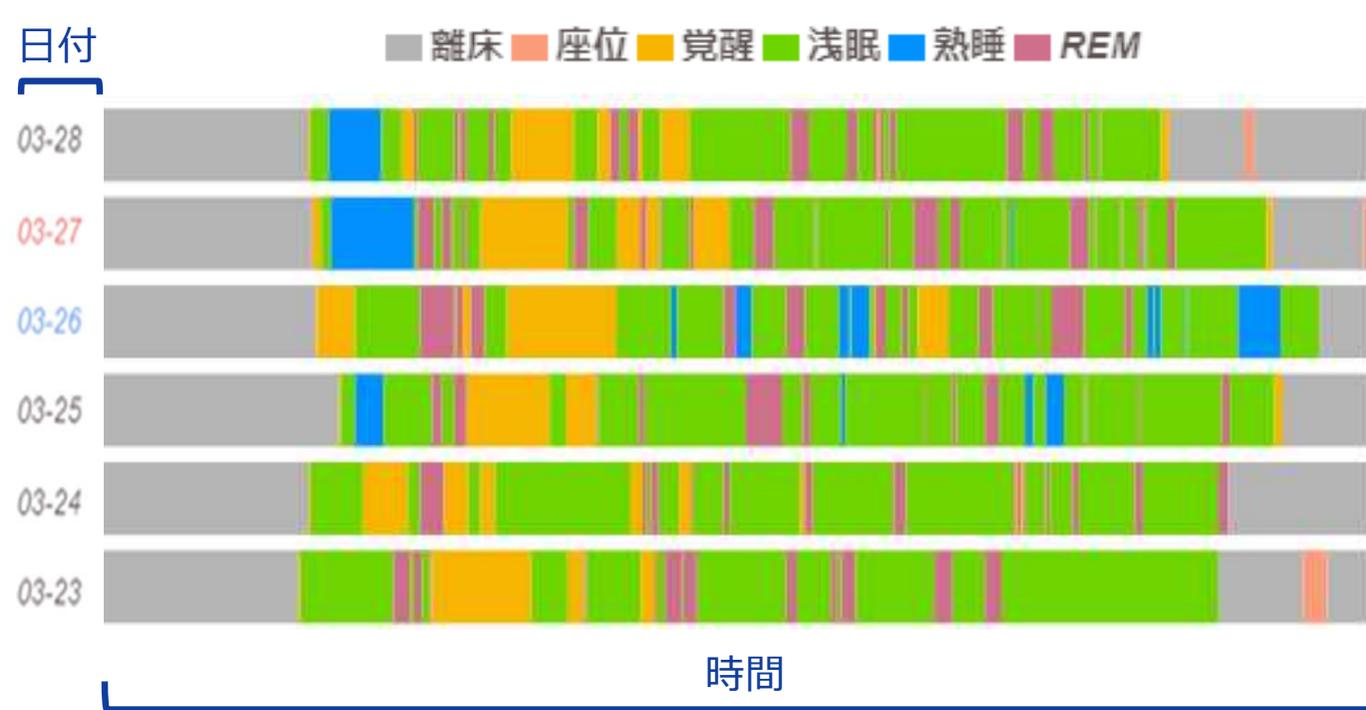
- ・一週間分の睡眠や行動パターンを日ごとに表示
- ・睡眠や行動の傾向を、訪室等に活かせる

課題例

どの時間に転倒事故が発生しやすい？

おむつ交換の適切なタイミングは？

訪室はどのタイミングがいい？

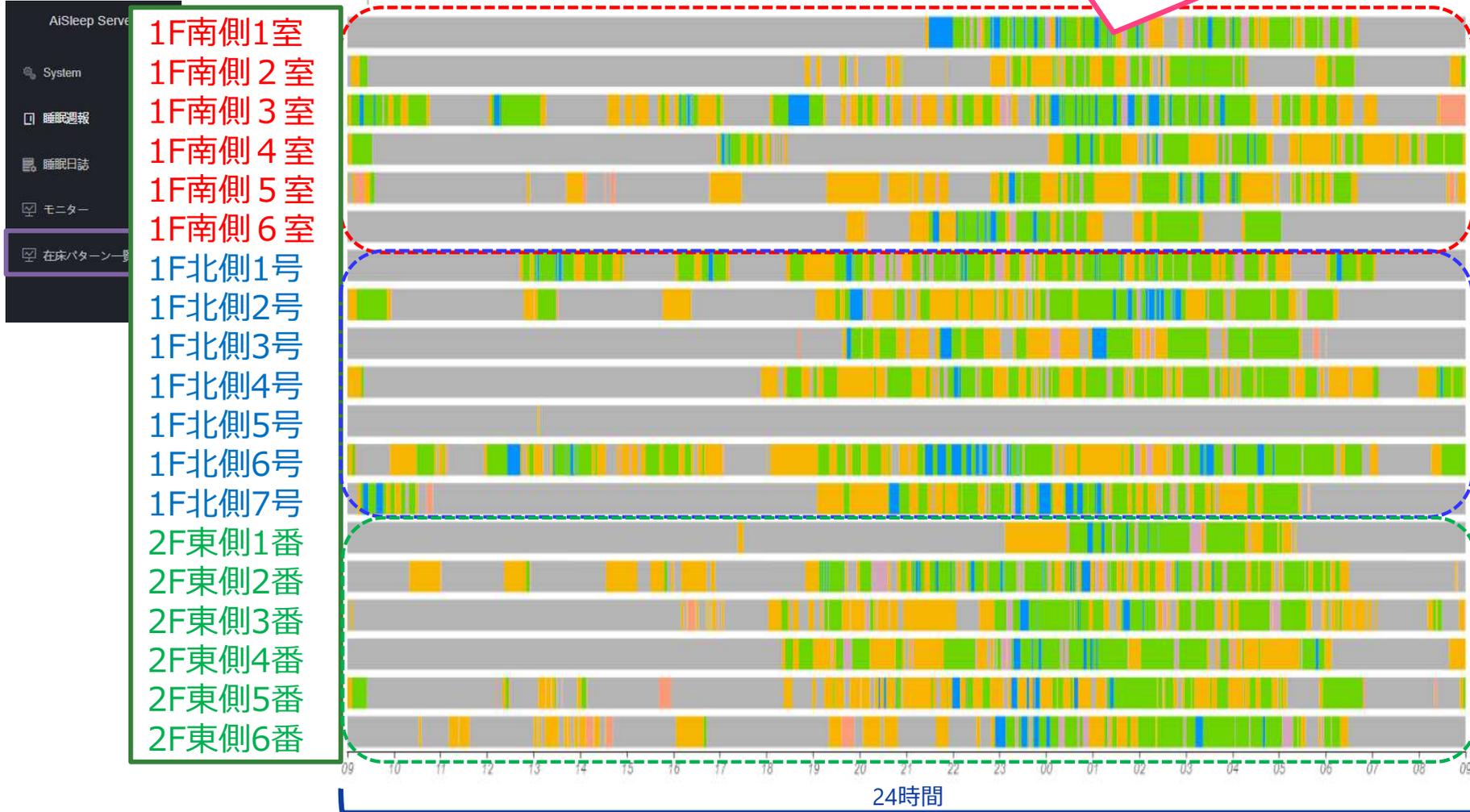


■ 日別の総合データ

- ① 平均心拍・呼吸数
- ② 24時間の合計アラート総数
- ③ 睡眠スコア・総睡眠時間
- ④ 無呼吸度・ゆらぎ健康度

解析レポート機能③【在床パターン一覧】

施設・ユニット・フロア等（複数選択可）ごとに、24時間の在床・睡眠パターンを一覧で表示。



連携済み記録・請求ソフト（スマートケアMOVE）

- ①記録側から、見守りセンサー情報を一括で確認
 - ・心拍・呼吸・ステータス（睡眠・覚醒・座位・離床）
 - ・睡眠解析、リアルタイム記録

スマートケア介護記録



- ②記録側からセンサーの入居者・居室名の表示変更

株式会社トラステック（新潟県）

記録 睡眠分析		
R03年02月20日（土）		
時刻	内容	
00:00	見守りセンサー	【定時報告】状態：睡眠、心拍：60回/分、呼吸
00:23	見守りセンサー	状態：覚醒、心拍：72回/分、呼吸：15.4回/分
00:24	見守りセンサー	状態：離床
01:07	見守りセンサー	状態：入床、心拍：0回/分、呼吸：0回/分
02:36	見守りセンサー	状態：睡眠、心拍：64回/分、呼吸：17.2回/分
02:54	見守りセンサー	状態：覚醒、心拍：74回/分、呼吸：14.9回/分
03:00	見守りセンサー	【定時報告】状態：覚醒、心拍：67回/分、呼吸
03:17	見守りセンサー	状態：睡眠、心拍：53回/分、呼吸：17.1回/分
04:01	見守りセンサー	状態：覚醒、心拍：53回/分、呼吸：17.5回/分

記録 睡眠分析	
R03年02月20日（土）	
時刻	
	入床時間：R03年02月19日（金） 17:58
	入眠時間：1時間3分
	睡眠時間：11時間36分
	離床回数：6回
	寝返り回数：83回
10:29	イビキ総回数：1回
	無呼吸度：8
	睡眠効率：55%
	睡眠質量：34% ★★★★★
	睡眠位相：0
	ゆらぎ健康度：1.21

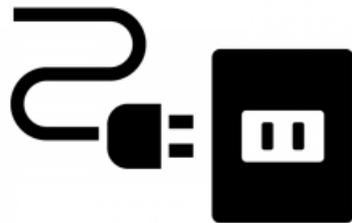
業務改善をお試して体感

『ちょっとだけ製品を見たい』 『デモ・お試し使用』

全て無料！！



ポケットWi-Fi



見守りモニター
Aisleep



施設様へ
配送します

ポケットWi-Fiつき、電源を入れるだけでお試し開始。
使い方のフォローも無料で実施します。